

2026年度（令和8年度）

学生募集要項

大学院薬食生命科学総合学府
薬食生命科学専攻
【博士後期課程】



静岡県立大学
UNIVERSITY OF SHIZUOKA

<https://www.u-shizuoka-ken.ac.jp/>

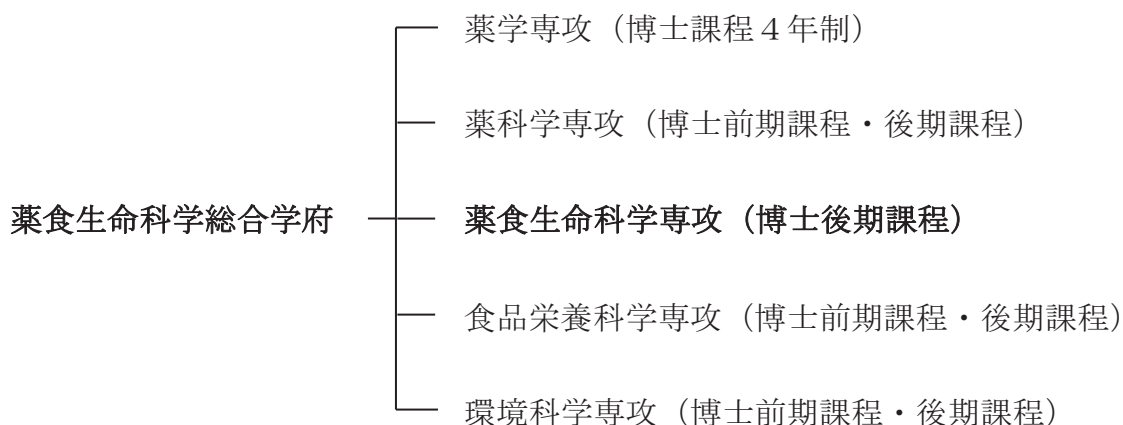
目 次

	ページ
目次	1
専攻概要	2
ポリシー	3
1 募集人員及び修業年限	4
2 出願資格	4
3 選抜区分	4
4 出願資格審査	5
5 出願	6
6 申請方法	7
7 選抜方法	7
8 試験日程及び会場	7
9 合格発表	8
10 出願書類の請求及び出願上の留意事項	8
11 その他	8
講座一覧	10
試験会場	11

【薬食生命科学総合学府 薬食生命科学専攻】

本学府は、薬学部および、食品栄養科学部（平成26年度より環境科学研究所教員を併合）の大学院教育組織として、平成24年度に統合・開設されました。薬と食を基盤とした最先端生命科学を究め、健康寿命の延伸と安全・安心な環境の創出に貢献できる研究者や高度専門技術者を育成することを目的とします。

本学府は5専攻から構成されますが、このうち、薬食生命科学専攻は、薬学、栄養学、食品科学の知識を統合し、物質科学的及び生命科学的観点から薬食境界領域の先端的科学研究の担い手となる科学者・技術者を養成します。本専攻は、医薬の創製、疾病の成因の解明および薬物治療の適正化を目指す薬科学と食品の高次機能と食品成分の体内動態の解明により疾病予防および物質の安全性評価を目指す食品栄養科学を融合し、世界最高水準の「薬食生命科学」の創成を図るものです。



【学府の理念、目標】

健康増進や病気の予防・治療による健康長寿の実現には、適切な医薬品や食品の開発・選択と、医薬品の適正使用が欠かせません。薬食生命科学総合学府では、健康維持の要因あるいは疾病の発症・進展のメカニズムを生命科学や物質科学的観点から解明し、健康長寿社会の構築に貢献する意欲があり、そのための努力を惜しまない学生を求めています。薬学、食品栄養科学、環境科学等の最先端科学を通して国際的に貢献できる人材を養成します。

【求める学生像】

薬、食品、栄養あるいは環境に関する科学に貢献する意欲のある学生を幅広く求めます。そのためには、

- 1) 薬、食品、栄養あるいは環境に関する科学の習得と研究に必要な基礎学力
 - 2) 国際的な科学コミュニティへの参加に必要な英語能力
- が必要です。

【学位授与の方針（ディプロマポリシー）】

薬食生命科学専攻では、薬食生命科学や健康長寿科学の研究領域でグローバルに貢献でき指導的役割を担える人材の育成を教育目標として掲げており、以下に掲げる資質を身につけ、所定の単位を修得した学生に対し博士（薬食生命科学）あるいは博士（生命薬科学）の学位を授与します。

1. 高い国際対話能力
 - ・薬食生命科学や健康長寿科学の研究領域においてグローバルに活躍できる情報収集能力とコミュニケーション能力を身につけている。
2. 倫理観
 - ・正しい倫理観と研究の課題解決能力を習得している。
3. 高度な知識と技能
 - ・薬学と食品栄養科学を基盤とした幅広い知識を理解し、論理的に思考できる。
4. 独創性と問題解決能力
 - ・専門領域における独創的な研究・開発を牽引するために必要な研究能力と意欲を持っている。
 - ・修得した知識と研究能力を基に、国際社会から地域社会までのグローバルな視点で社会に貢献できる能力と姿勢を持っている。
5. 自己研鑽
 - ・薬食生命科学という学際融合領域に関わる研究者として、常に自己を評価・省察し、さらに自らを高める意欲と能力を身につけている。

【教育課程編成・実施の方針（カリキュラムポリシー）】

薬食生命科学という学際融合領域の学問を習得するため、薬学、栄養学、食品科学を統合的に捉え、薬食生命科学領域の研究を通して、健康長寿科学を遂行するチャレンジ精神と優れた俯瞰力を有し、独創的な研究・開発を牽引するリーダーとして、グローバルに活躍できる知識、研究力、正しい倫理観をもつ研究者や高度専門職業人を養成するために、以下のようなカリキュラムを編成しています。

1. 倫理観を養い、薬食生命科学領域における高度な知識を習得した人材を育成する。
2. 薬食生命科学の演習科目、実験科目の履修により、優れた研究能力を養う。
3. 国際社会で活躍できる語学力とコミュニケーション能力を培い、国際対話能力の育成をはかる。

【入学者受け入れ方針（アドミッションポリシー）】

「薬食融合」という共通認識を基に、薬学、栄養学、食品科学の知識を統合し、物質科学的及び生命科学的観点から薬食境界領域の薬食生命科学における先端的科学的研究を通して、健康長寿社会への貢献を目指す次のような人を求めています。

1. 「健康寿命」を延ばすための「薬食生命科学」の学問領域に関心が高く、修得した教育研究の成果を、社会に還元することに意欲がある人
2. 「薬食生命科学」の専門分野の修得に必要な薬学、栄養学、食品科学、あるいは生命科学などの学問領域の基礎学力・研究の能力を備えている人
3. 国際社会から地域社会までの社会貢献を視野に入れたグローバルな思考ができる人

1 募集人員及び修業年限

専 攻	募集人員		標準修業年限
	一 次	二 次	
薬食生命科学専攻	5 名	若干名	3 年

- ※ 募集人員は、社会人特別選抜（若干名）及び外国人特別選抜（若干名）を含みます。
- ※ 一次募集入学試験で、入学定員に達した場合は、二次募集を行わないことがあります。事前に本学ホームページでご確認ください。
- ※ 講座の「主な研究分野と研究題目」については10ページを参照してください。

2 出 願 資 格

2026年3月末日をもって、下記(1)～(7)のいずれかに該当、あるいは該当する見込みの者。

- (1) 修士の学位や専門職学位を有する者（法第102条第1項）
- (2) 外国において修士の学位や専門職学位に相当する学位を授与された者（施行規則第156条第1号）
- (3) 外国の学校が行う通信教育を我が国において履修し、修士の学位に相当する学位を授与された者（施行規則第156条第2号）
- (4) 我が国において、外国の大学院相当として指定した外国の学校の課程（文部科学大臣指定外国大学（大学院相当）日本校）を修了し、修士の学位や専門職学位に相当する学位を授与された者（施行規則第156条第3号）
- (5) 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者（施行規則第156条第4号）
- (6) 大学等を卒業し、大学、研究所等において2年以上研究に従事した者で、本学学長が修士の学位を有する者と同等の学力があると認めた者（平成元年文部省告示第118号）
- (7) 本学学長が、大学院の個別入学資格審査により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、2026年3月31日までに24歳に達する者

（法：学校教育法、施行規則：学校教育法施行規則）

出願資格(2)～(7)のいずれかに該当する者、または社会人特別選抜、外国人特別選抜での出願を希望する者は、事前の審査が必要です。5ページの「4 出願資格審査」を必ずご確認ください。

3 選 抜 区 分

《一般選抜》

2の出願資格(1)～(7)のいずれかに該当する者

《社会人特別選抜》

2の出願資格(1)～(7)のいずれかに該当し、かつ、次の各号のいずれかに該当する者で、社会人特別選抜の出願資格審査を通過した者は、社会人特別選抜として出願できます。ただし、勤務先で、休職等により本務を離れて本学で勉学することを許可された者は、一般選抜に出願してください。

- ① 社会人として実務経験を3年以上有する者
- ② ①のほか、企業、研究機関等に勤務する者で、当該勤務先の承認を得ている者
- ③ その他学長が特に認める者

※入学後も企業、研究機関等で勤務を継続する者は、当該勤務先との間で問題が生じないように留意してください。

《外国人特別選抜》

2の出願資格(2)～(7)のいずれかに該当し、かつ、日本国籍を有しない者（日本国永住許可を得ている者を除く）で、教育を受ける目的をもって入国した者または入国する者は、外国人特別選抜として出願できます。

4 出願資格審査

出願資格(2)～(7)のいずれかに該当する者、または社会人特別選抜、外国人特別選抜での出願を希望する者は、事前に出願資格審査を行います。一次募集、二次募集それぞれの申請期間に、指定する提出書類を郵送または持参により学生部入試室まで提出してください。（提出方法は項目6を参照）

当該年度よりも前に出願資格審査で出願を認められた者も、改めて出願資格審査を受ける必要があります。期日までに提出がない場合には、**いかなる理由があっても出願できません**のでご注意ください。

(1) 出願資格審査申請期間

一次募集

2025年6月9日（月）～6月13日（金）

二次募集

2025年12月5日（金）～12月11日（木）

窓口受付時間：平日9：00～12：00、13：00～16：00

（郵送の場合も、最終日16:00必着）

(2) 出願資格審査書類

審査結果については、後日、申請書の住所宛に郵送にて通知します。出願期間の1週間前になっても到着しない場合は入試室へ連絡してください

提出書類	説明 (所定の様式は本学ホームページからダウンロードすること)
a 出願資格審査申請書	所定の様式 ◎申請に先立って、必ず志望講座・研究室主任教員に連絡をとること
b 住民票 ※外国人留学生のみ	＜日本に在住している外国人＞ 住民票（在留資格、在留期間が明示されているもの）を提出すること。 ※在留カードのコピーは不可 ＜日本に在住していない外国人＞ 国籍を証明する書類（旅券の写しなど）を提出すること。
c 修士課程修了（見込） 証明書【原本】 *1 *2	出身大学（院）において作成、 厳封したもの を提出すること。
d 成績証明書【原本】 *1 *2	学部と修士課程 について、出身大学（院）においてそれぞれ作成、 厳封したもの を提出すること。 ※大学等に編入した者は、編入前の学校の成績証明書も提出
e 研究歴・研究内容の要旨 *1	A4判縦、様式任意（日本語または英語）
f 研究論文目録 *1	A4判縦、様式任意（日本語または英語）
g 研究論文 *1	「最終学歴の学位論文」の写しとその要旨（2000字程度、A4判縦：横書、パソコン等での作成可）。学位論文がない者は、その他の研究論文。
h 受験許可書 *1 *3	社会人特別選抜 での出願を希望する者は提出してください。 勤務先の所属長または代表者が作成した受験許可書 宛名は「薬食生命科学総合学府長」、所属長または代表者の印は「公印」を使用すること。（氏名、所属先、在職期間を明記：A4判縦 様式任意）

*1 姓が変更となっている場合は住民票や戸籍抄本等、変更が確認できるものを添付してください。

*2 修士の学位に相当する学位を有さない者は、最終学歴における証明書を提出してください。

*3 「公印」を所持していない等、使用できないやむを得ない理由がある場合は、**事前**に入試室に相談し、指示を受けてください。

【外国の大学を卒業・修了（見込）の方は下記をご確認ください】

- ・cが提出できない場合は、出願資格を証明する書類（授与された証書等）の原本を提出してください。
- ・c, d及び授与された証書等が日本語または英語以外で表記されている場合は「日本語または英語訳」を添付してください。
- ・外国の大学で作成したものについては、厳封されていなくても結構です。

5 出 願

(1) 出願期間

一次募集

2025年 7月11日（金）～7月18日（金）

二次募集

2026年 1月28日（水）～ 2月3日（火）

窓口受付時間：平日9：00～12：00、13：00～16：00

※ただし最終日は、15：00まで（郵送も含む）

(2) 出願書類

一次募集、二次募集それぞれの出願期間に、指定する提出書類を郵送または持参により学生部入試室まで提出してください（提出方法は項目6を参照）。

受験票は、返信用封筒に記載の住所宛に送付します。下記の期間を過ぎても到着しない場合は入試室へ連絡してください。

・一次募集 2025年8月8日（金） ・二次募集 2026年2月20日（金）

※出願資格審査で提出済みの書類については、再提出は不要

出願書類		説明 (「所定の様式」は本学ホームページからダウンロードすること)
a	入学願書 (進学願書)	所定の様式 ◎出願に先立って、必ず志望講座・研究室主任教員に連絡をとること。
b	写 真 票	所定の様式。写真（4.0cm×3.0cm）を貼付すること。
c	修士課程修了（見込） 証明書【原本】 *4	出身大学（院）において作成、 厳封したもの を提出すること。 ※出願資格(2)～(7)に該当する者については、別途指示することがある。
d	成績証明書 (学部、修士) 【原本】 *4	学部と修士課程 について、出身大学（院）においてそれぞれ作成 厳封したもの を提出すること。 ※大学等に編入している者は、編入前の学校の成績証明書も提出すること。 ※出願資格(2)～(7)に該当する者については、別途指示することがある。
e	学位論文等 *4	「 修士論文 」の写し及び その要旨 をそれぞれ 1部 ずつ提出すること (2026年3月修士課程修了見込みの者は、 研究経過の要旨 でも可)。 ※出願資格(6),(7)に該当する者については、研究歴、研究内容の要旨、研究論文目録及び論文別刷（3編まで）をそれぞれ1部ずつ提出すること。 ◎要旨は2000字程度とする。（A4判縦：横書、パソコン等での作成可）
f	入学検定料	30,000 円 郵便局の 普通為替証書 に限る。 <u>購入後、何も記入しないこと。</u> ※本学大学院薬食生命科学総合学府・博士前期（修士）課程修了見込みの者で、本学府・博士後期課程に進学を希望する者は不要。
g	返信用封筒 (受験票送付用)	市販の長形3号の封筒に、住所・氏名・郵便番号を明記し、 460円分の切手を貼付 すること
h	住 所 票	所定の様式。住所・氏名を明記すること。「様」は消さないこと。
i	TOEFL iBT®または TOEIC® L&R 公開テストの成績【原本】 ※二次募集のみ *5	<TOEFL iBT®の場合> 「 Official Score Reports （公式スコアレポート）」を米国ETSから本学へ直送する手続きを行うこと。手続き完了後にスコアの情報が本学に送信されるため、このデータが確認できた時点でスコアの受理とする。 <TOEIC® L&R 公開テストの場合> ※ TOEIC L&R IPテストのスコアは不可 「 Official Score Certificate 」（公式認定証）の原本を提出する。 ※原本は受験票送付時に返却。2024年4月1日以降受験のスコアに限る。

*4 姓が変更となっている場合は住民票や戸籍抄本等、変更が確認できるものを添付してください。

*5 TOEFL iBTおよびTOEICはエデュケーション・テスト・サービス(ETS)の登録商標です。

この印刷物はETSの検討を受けまたその承認を得たものではありません。

◎出願時に日本国外に在住の者は、次の書類を併せて提出してください。

出願書類	説明
経費支弁能力を証明する書類	出願者は、自身の留学予定期間中に必要となる経費について十分な支弁能力があることを、以下の書類により立証して下さい。 (出願者本人が経費支弁者となる場合) ・経費支弁計画書(所定の様式) ・支弁の裏付けになる書類(本人の預金残高証明書等) (出願者本人と経費支弁者が異なる場合) ・経費支弁計画書(所定の様式) ・支弁の裏付けになる書類(預金残高証明書等) ・経費支弁者と出願者との親族関係を証明する書類

6 申請方法

角形2号の封筒(縦332mm×横240mm)に該当する書類を入れ、学生部入試室宛に提出してください。
(封筒の表書きには「大学院薬食生命科学総合学府 薬食生命科学専攻 博士後期課程 出願(もしくは出願資格)書類在中」と朱書してください)。

郵送の場合は、**簡易書留郵便**または**簡易書留速達郵便**により提出してください(期限厳守)。

提出先：〒422-8526 静岡県駿河区谷田52-1 静岡県立大学学生部入試

※証明書が1部しか発行されない等の理由で、卒業証明書や成績証明書の原本返却を希望する場合は、本学ホームページから「証明書【原本】返却願」を印刷し、必要事項を記入のうえ同封してください

7 選抜方法

〔一次募集〕

入学者の選抜は、学力検査(TOEIC® L&R IPテスト、スコアを200点満点に換算)、成績証明書、学位論文または研究経過の要旨及び口頭試問の成績(100点)を総合し、選抜ごと(一般選抜、社会人特別選抜及び外国人特別選抜)に行います。

※TOEIC® L&R IPテストの試験結果は本学府の入学試験にのみ有効であり、**TOEIC® L&R IPテストのスコアレポート(個人成績表)は受験生へは提供しません。**

〔二次募集〕

入学者の選抜は、口頭試問の成績(100点)、TOEFL iBT®またはTOEIC® L&R 公開テストのスコア(提出スコアを200点満点に換算)、成績証明書、修士学位論文または研究経過の要旨を総合し、選抜ごと(一般選抜、社会人特別選抜及び外国人特別選抜)に行います。

8 試験日程及び会場

(1) 試験日時

◎一次募集

月	日	時 間	科目等
2025年8月20日(水)		9:00～11:30 (150分)	英語 (TOEIC® L&R)
		13:00～	口 頭 試 問

※「英語 (TOEIC® L&R)」について

- ・本学大学院試験会場でTOEIC® Listening & Reading IPテストを行います。
- ・試験時間には、説明時間(約30分)を含みます。
- ・辞書等の持ち込みはできません。

◎二次募集

月	日	時 間	科目等
2026年3月2日(月)		10:00～	口 頭 試 問

(2) 試験会場

静岡県立大学 草薙キャンパス (※本冊子の11ページ参照)

9 合格発表

【一次募集】2025年9月2日（火）

【二次募集】2026年3月5日（木）

- (1) 合格者の受験番号は本学ホームページ（<https://www.u-shizuoka-ken.ac.jp/admissions/graduate/>）にて掲載します。ただし、合格通知書の送付をもって正式通知とします（電話等による照会には一切応じません）。
- (2) 合格通知書は、出願時に選択した方法（郵送または入試室での受け取り）にてお渡しいたします。

10 出願書類の請求及び出願上の留意事項

- (1) 出願資格審査の提出書類、出願書類のうち「所定の様式」は、本学ホームページに掲載のPDFファイルを印刷したものを利用してください（<https://www.u-shizuoka-ken.ac.jp/参照>）。または入試室宛に請求してください。

※ 郵便で出願書類付の募集要項を請求する場合は、次のようにしてください。

ア 封筒の裏側に住所・氏名を明記するとともに、表側には必ず「**大学院薬食生命科学総合学府 薬食生命科学専攻 博士後期課程 募集要項請求**」と朱書きし、返信用封筒を同封して学生部入試室宛に請求してください。

イ 返信用封筒は角形2号（縦 332mm×横 240mm）を使用し、受取人の住所・氏名・郵便番号を明記して、270円切手（速達の場合は 570円切手）を貼付してください。

- (2) 出願書類に不備のある場合は、受理しないことがあります。
- (3) 出願書類受理後の書類の変更は認めません。
- (4) 出願書類等に虚偽の記載があった場合には、合格を取り消します。
- (5) 一度受理した出願書類及び入学検定料は返却しません。
- (6) 過去の入学試験問題（英語）については、著作権の都合上本学で使用問題の保管ができないため閲覧できません。
- (7) 入学志願者で、身体に障がい等（障がいの程度は学校教育法施行令第22条の3の規定に該当するもの）があり、受験上特別な配慮を要する者は、以下の日時までに入試室へ必ず事前照会してください。
・一次募集 2025年6月13日（金）16:00まで ・二次募集 2025年12月11日（木）16:00まで

11 その他

(1) 入学手続等について

合格者に対して、「入学手続要項」を送付します。概要は以下のとおりです。

ア 入学手続

(ア) 受付日【持参の場合】※郵送による受付日は入学手続要項送付時にお知らせします。

一次募集：2025年10月24日（金）

二次募集：2026年 3月13日（金）

(注) 一次募集の合格者のうち、希望者は二次募集の受付日に手続をすることができます。その場合は**必ず**入学手続要項送付時に指定する期日までに学生部入試室に申請をしてください。

(イ) 主な提出書類・納付金

- a 宣誓書・保証書 b 住民票（静岡県内の者のみ） c 写真
- d 入学料 ※入学手続要項送付時にお知らせします。

（参考）2025年度入学者実績：静岡県内の者141,000 円・静岡県外の者366,600 円

※注1：「静岡県内の者」とは、本人または本人の配偶者若しくは1親等の親族が、入学手続を行う月の1日において、引き続き1年以上の期間静岡県に住所を有していたことを住民票により証明できる者を指します。

※注2：2025年度中に入学料が改定された場合には、改定後の入学料が適用されることとなります。

※注3：本学大学院薬食生命科学総合・学府博士前期（修士）課程修了見込みの者で、本学府・博士後期課程に進学する者については入学料不要です。

e 保険料 ※入学手続要項送付時にお知らせします。

(参考) 2025 年度入学者実績 : 3,670 円

f その他諸経費 ※入学手続要項送付時にお知らせします。

詳しくは、薬科学専攻（博士後期課程）または食品栄養科学専攻（博士後期課程）の募集要項をご参照ください。

イ 授業料 ※入学手続要項送付時にお知らせします。

(参考) 2025年度入学者実績

前期授業料（入学時に納付）	267,900 円
後期授業料（10月に納付）	267,900 円
合 計（授業料年額）	535,800 円

注：年額一括納付はできません。また、2025年度中または入学時に授業料が改定された場合には、改定後の授業料が適用されます。なお、在学中に授業料が改定された場合には、改定時から新たな授業料額が適用されます。

(2) その他参考事項

ア 日本学生支援機構（旧日本育英会）奨学金について

一次募集合格者は、合格通知書送付の際に貸与希望を確認します。二次募集合格者は、合格通知書に同封する「入学手続要項」にてご確認ください。

イ 授業料等の減免について

この制度の詳細については、「入学手続要項」にてご確認ください。

また、災害被災者の場合は、申請により授業料以外に入学料も免除されることがあります。

注：日本学生支援機構奨学金及び授業料等の減免の詳細については、学生部学生室に照会してください（TEL (054) 264-5009）。

ウ 長期履修制度について

長期履修制度とは、職業を有している、育児・介護等を行う必要がある等の事情により、標準的な修業年限での修了が困難な者に限り、所定の在学年限の範囲内で修業年限を延長して教育課程を履修することを認める制度です。この制度の利用により、授業料については、標準修業年限分の総額を長期履修が認められた年数で分割して納入することができます。詳細については、学生部学生室に照会してください（TEL (054) 264-5009）。

静岡県立大学大学院薬食生命科学総合学府 薬食生命科学専攻

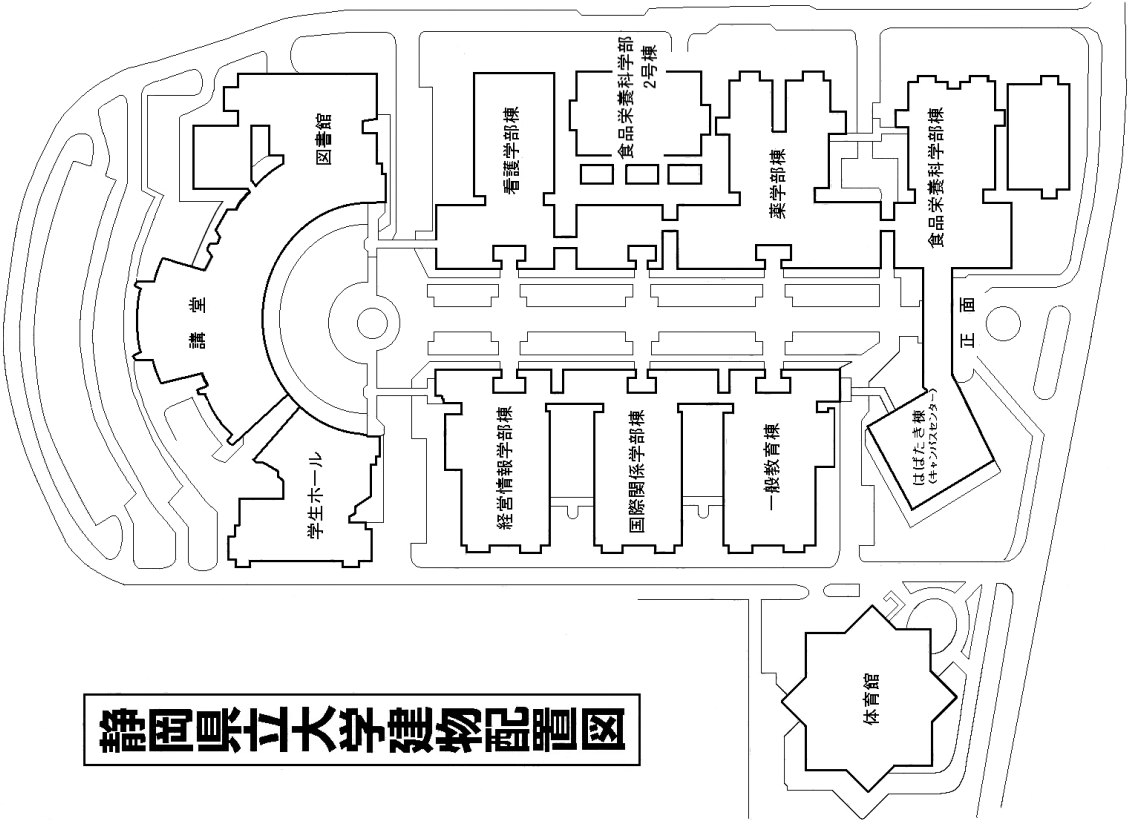
講座・研究室	主 な 研 究 分 野 と 研 究 題 目
生化学講座 *1 教授 竹内英之 准教授 高橋忠伸	☐ 糖鎖による Notch シグナル調節メカニズムの解明とその薬学的応用 ☐ ウイルス感染増殖における複合糖質の機能解明と抗ウイルス剤の開発 ☐ 脳における糖鎖の機能解明 ☐ 糖鎖修飾による幹細胞制御機構の解明と再生医療応用
生薬学講座 *1 教授 渡辺賢二 准教授 佐藤道大	☐ 細胞工学的手法を用いた有用物質生産と生合成研究 ☐ 二次代謝産物の生合成研究 ☐ コレステロール生合成に関与する酵素の生物有機化学 ☐ 生物試験法を指標とする天然物の探索
免疫微生物学講座 *1 教授 梅本英司 准教授 大橋若奈	☐ 粘膜免疫系の機能解析 ☐ 免疫細胞に作用する代謝分子とその受容体の機能解明 ☐ 病原性細菌に対する宿主防御機構の解析 ☐ 知覚神経受容体刺激による化学物質アレルギー促進機構の解明
医薬生命化学講座 *1 教授 浅井知浩 准教授 小出裕之	☐ リポソームDDSに関する基礎研究 ☐ 核酸医薬開発におけるナノDDS研究 ☐ がんの診断・治療への応用を目指したナノDDS研究 ☐ 高機能化ナノ粒子の設計と研究開発
薬剤学講座 *1 教授 尾上誠良 准教授 佐藤秀行	☐ 薬物の体内動態、薬効・副作用の解析による効率的創薬・創剤 ☐ 生理活性ペプチドの医薬応用を指向した DDS 開発と動態解析 ☐ 薬物動態情報と薬剤物性に基づく安全性予測法の開発 ☐ 機能性食品の動態制御研究ならびに薬物との相互作用解析
微生物学研究室 *2 教授 永井重徳	☐ 微生物による（アレルギー等の）免疫疾患制御 ☐ 微生物による免疫抑制関連分子の発現制御 ☐ 敗血症後の免疫機能不全（免疫麻痺）における免疫細胞の動態制御
長寿生化学研究室 *2 教授 三好規之	☐ 機能性食品成分の代謝・動態・作用機序解析 ☐ 生活習慣病を惹起する腸内細菌代謝物の探索・同定 ☐ 発がん要因マーカーの同定とがんの化学予防
食品生命情報科学研究室 *2 准教授 中野 祥吾	☐ 次世代素材となる人工蛋白質創出を可能とするインシリコ技術開発 ☐ 実験-情報技術を融合した手法による新規ファインケミカル合成法の確立 ☐ 産業応用酵素の構造機能解析と計算化学解析
栄養生理学研究室 *2 准教授 細岡哲也	☐ 白色・褐色脂肪組織の機能不全による代謝疾患の発症・進展メカニズムに関する研究 ☐ 非アルコール性脂肪性肝炎（NASH）の病態解明と予防・治療法の開発 ☐ 腸内細菌代謝物による代謝改善メカニズムに関する研究
人類遺伝学研究室 *2*3 教授 小林公子	☐ 生活習慣病発症に関与する遺伝要因と環境要因（特に食生活）の相互作用に関する研究 ☐ 栄養と身体づくりを繋ぐ分子メカニズムの解析 ☐ 昆虫飼料および昆虫食に関する研究

*1 博士前期課程は、薬科学専攻に配置しています。

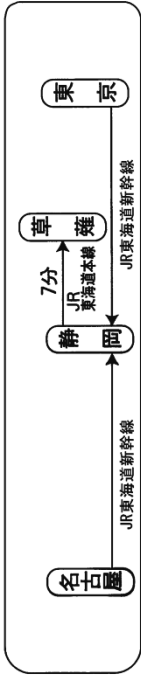
*2 博士前期課程は、食品栄養科学専攻に配置しています。

*3 当該研究室主任教員は 2026 年 3 月で退職となりますので、新たな大学院生を指導することはできません。

静岡県立大学建物配置図



● ...バス停



●徒歩ス
●ハ

静岡県立大学

静岡市駿河区谷田52-1
☎ (054) 264-5007

《入学者選抜試験に関する問い合わせ》

静岡県立大学学生部入試室（平日9:00～12:00、13:00～17:00）

〒422-8526 静岡市駿河区谷田52-1

TEL (054) 264-5007 FAX (054) 264-5199

メールアドレス: nyus@u-shizuoka-ken.ac.jp

ホームページ: <https://www.u-shizuoka-ken.ac.jp/>

よくあるご質問: <https://www.u-shizuoka-ken.ac.jp/admissions/graduate/faq/>

薬学研究院ホームページ: <https://w3pharm.u-shizuoka-ken.ac.jp/>

食品栄養科学専攻ホームページ:

<https://dfns.u-shizuoka-ken.ac.jp/graduate/graduate-program/gpfns/>